

## 平成22年度学校評価アンケートについて

### 1 学校評価アンケート実施について

平成22年12月10日（金）配付

本校教職員（19名）校長、副校長、事務長、非常勤講師、NS、期限付臨時職員は除く。

本校生徒全員（184名）

本校保護者全員（184名）

### 2 集計結果について

#### A 回収状況

①教職員 19名（100%）

②生徒 182名（98.9%）

③保護者 143名（77.7%）

#### B 主な集計結果

1～6の共通項目については、現在の指導でよいが約7割である。また強化すべきの割合は前年度より減少している。8以下の項目についても、生徒は21項目中20項目、保護者は7項目中6項目、教職員は27項目中21項目で肯定的な評価が増加しており、学校全体に対する満足度は上昇している。

#### (1) 学習指導について

生徒・保護者の強化すべきであるという回答が減少している。一人一人に対するきめ細かな指導が評価され、現在の学習指導に対する満足度が上がっているものと思われる。

しかし、生徒に対しては、もっと学習したいという気持ちが増加し、さらに意欲的に学習に取り組めるように学習指導の工夫改善を図っていきたい。

数値は% 括弧内は昨年度

	A	B	C
教職員	47(47)	53(53)	0(0)
生徒	14(22)	78(72)	8(6)
保護者	30(42)	68(55)	2(3)

A:指導を強化すべき B:現在でよい C:ゆるめるべき

#### (2) 進路指導について

昨年度よりは強化すべきであるという回答は減少しているが、生徒の約3割、保護者の4割が強化を望んでいる。厳しい雇用情勢はまだ続くと思われるが、今までのノウハウを生かし、多様な進路に対応したきめ細かな指導を継続していきたい。

数値は% 括弧内は昨年度

	A	B	C
教職員	42(63)	58(37)	0(0)
生徒	26(37)	71(61)	3(2)
保護者	41(50)	58(48)	1(2)

A:指導を強化すべき B:現在でよい C:ゆるめるべき

#### (3) 生活指導について

昨年度まで生活指導と教育相談が合わせて一つの項目であった。学校全体が落ち着いてきており、強化すべきという割合が教職員と保護者でさらに減少している。まじめな生徒の中から、だらしのない生徒をもっときちんと指導して欲しいという声が出てくる。さらに生活指導に厳正な姿勢で対応していきたい。

数値は% 括弧内は昨年度

	A	B	C
教職員	32(37)	68(63)	0(0)
生徒	22(21)	59(73)	19(6)
保護者	28(39)	70(61)	2(1)

A:指導を強化すべき B:現在でよい C:ゆるめるべき

#### (4) 教育相談について

昨年度まで生活指導と教育相談が合わせて一つの項目であった。現状の指導でよいが8割位であるが、悩みを持った生徒も少なからず居り、教育相談のさらなる充実を図っていきたい。

数値は% 括弧内は昨年度

	A	B	C
教職員	21(37)	79(63)	0(0)
生徒	15(21)	81(73)	4(6)
保護者	22(39)	78(61)	1(1)

A:指導を強化すべき B:現在でよい C:ゆるめるべき

#### (5) 部活動指導について

現状の指導への満足度が上がっている。本来の学校のあるべき姿の学習と部活動にさらにしっかりと取り組ませていきたい。

数値は% 括弧内は昨年度

	A	B	C
教職員	32(42)	68(58)	0(0)
生徒	32(43)	61(49)	7(8)
保護者	28(30)	69(67)	3(3)

A:指導を強化すべき B:現在でよい C:ゆるめるべき

#### (6) 生き方や心の教育について

強化すべきという割合が、教職員で高く、生徒と保護者がそれほど高くない。特に生徒は現在の指導でよいという回答であるが、人としての生き方、在り方を、授業の中や学校行事、講演等を通して、いろいろな形で示しながら、指導していきたい。

数値は% 括弧内は昨年度

	A	B	C
教職員	50(63)	50(37)	0(0)
生徒	20(27)	77(71)	3(2)
保護者	34(39)	64(59)	1(3)

A:指導を強化すべき B:現在でよい C:ゆるめるべき

#### (7) 特色づくりや改善について

生徒に否定的な意見が多い。中学校と共同開催の地域文化選択講座や芸術鑑賞、海外派遣事業、ベイビューカレッジの受入事業など本校の特色ある事業を再確認するとともに、気仙地域のニーズにあった特色作りに努めていかなければならない。

数値は% 括弧内は昨年度

	A	B	C	D
教職員	11(11)	79(58)	5(32)	5(0)
生徒	6(4)	47(34)	35(46)	13(16)
保護者	8(8)	69(72)	21(18)	3(2)

A:大変そう思う B:そう思う C:そう思わない D:全然そう思わない

平成22年度入学生から、中高の円滑な接続を目的として「高校数学入門」「高校英語入門」を1学年前半で開講している。

#### (8) 教職員の頑張りについて

肯定的な回答が増加しているが、生徒の22%、保護者の20%がまだ否定的に捉えている。生徒・保護者一人一人の満足度が上がるように取り組んでいきたい。

数値は% 括弧内は昨年度

	A	B	C	D
教職員	21(16)	68(79)	11(5)	0(0)
生徒	24(11)	54(57)	17(24)	5(9)
保護者	16(10)	64(69)	16(19)	4(3)

A:大変そう思う B:そう思う C:そう思わない D:全然そう思わない

### (9) 生徒と先生の関係について

昨年度よりさらに肯定的な数値が増加している。また、生徒の肯定的な意見が39%→45%→57%→69%と年々増加している。しかし、まだ、否定的な意見もあり、面談や、声かけ等、一人一人に対するきめ細かな指導を心がけていきたい。

	数値は%		括弧内は昨年度	
	A	B	C	D
教職員	0(11)	79(58)	21(32)	0(0)
生徒	18(10)	51(47)	19(31)	12(12)
保護者	13(10)	61(63)	24(24)	3(4)

A:大変そう思う B:そう思う C:そう思わない D:全然そう思わない

### (10) 保護者と先生の関係について

わずかではあるが肯定的な数値が増加しており、関係は概ね良好という意見が多い。保護者にまだ31%の否定的な意見があり、個々の保護者へもっと積極的に働きかけ、意思の疎通と理解を図っていく必要がある。

	数値は%		括弧内は昨年度	
	A	B	C	D
教職員	5(5)	79(68)	11(26)	5(0)
保護者	6(5)	63(60)	27(31)	4(5)

A:大変そう思う B:そう思う C:そう思わない D:全然そう思わない

### (11) PTA活動や同窓会活動について

昨年度同様否定的な意見が多い。PTA総会や学年PTAの参加者を増やす工夫をするなど、連携を取りながら活性化に努めていかなければならない。

	数値は%		括弧内は昨年度	
	A	B	C	D
教職員	0(16)	58(32)	42(53)	0(0)
保護者	3(3)	56(52)	39(38)	3(6)

A:大変そう思う B:そう思う C:そう思わない D:全然そう思わない

### (12) 情報伝達や広報活動について

若干改善したものの、約半数が情報不足を感じている。ホームページの充実をし、また、学校の様子や生徒活動の様子など、保護者あての広報活動にも努めていきたい。

	数値は%		括弧内は昨年度	
	A	B	C	D
生徒	11(6)	49(40)	30(37)	10(17)
保護者	6(5)	49(46)	39(41)	6(8)

A:大変そう思う B:そう思う C:そう思わない D:全然そう思わない